

動画配信 1	「富士市で働く」を楽しむワーケーションモニターツアー —テレワークを活用した魅力あるワーケーションプログラムの作成 — <企画・運営から成果発信まで>—
---------------	---

※本事業はふじのくに地域・大学コンソーシアム「令和4年度ゼミ学生等地域貢献推進事業」の採択を受け、富士市令和4年度「内閣府デジタル田園都市国家構想推進交付金」の採択事業と連携して実施しました。

事業担当者

経営学部経営学科 教授 小豆川裕子（代表）、小豆川ゼミ・研究室 参加学生（25名）○：リーダー
 3年：○佐野智也 井上侑星 クンドウ 紀之 鈴木友也 鈴木瑠晟 徳能耀一
 2年：赤堀裕斗 飯野太一 池ヶ谷瑠那 石川優月 大棟奈々美 加藤純香 久保田美帆
 小林穂乃香 坂野莉流 佐々木蓮 柴田真奈 鈴木菜々美 鈴木怜奈 田口真衣
 多々良朱里 一杉空河 益富咲菜 望月陽向 渡邊柊斗

課題提出者：富士市産業交流部産業政策課

連携企業・団体：コニカミノルタジャパン株式会社、コニカミノルタ静岡株式会社、株式会社 JOINX、

協力：富士市 商業労政課、住宅政策課、シティプロモーション課、富士商工会議所

目的・概要

本研究は、「テレワーク先進都市」を目指す富士市の施策の一環として、首都圏の企業、ワーカーを対象としたワーケーションプログラムに関して若者の発想力と行動力を活かした企画・運営から成果発信を行うことで、地域活性化に貢献することを目的に実施した。

事業成果

ゼミ生は、本研究を通じて地方創生施策の最前線であるワーケーションの基礎知識や動向を理解し、連携・協働する関係者とディスカッションを行ったりアドバイスをいただきながら、富士市の魅力を活かしたプログラムの作成を行った。あわせて1泊2日のモニターツアーのアテンド、運営全般を関係者と協働しながら実施した。学生は、調査力、交渉力、多様な主体との連携力・コミュニケーション力、プレゼンテーション力、不測事態や状況変化に応じた対応力を習得することができた。

ツアー参加者のアンケートでは、全員から高評価をいただいた。課題提出者の富士市産業交流部産業政策課からは、このプログラムを活かし、企業・ワーカーの誘致・移住を今後も進めたいとの講評を頂戴した。

モニターツアー内容例：1日目夕刻イベント：ビジネス交流会

モニターツアーの全体写真

時間	内容
18:00	交流会の趣旨・当日の流れの説明
18:05	自己紹介
18:40	名刺交換・軽食
19:10	学生からの企画
19:40	このみ会より事業紹介
19:50	LITTLE L代表早川さんより、事業の紹介と議題について
20:00	グループディスカッション
20:10	グループ内で意見交換
20:20	グループごとに意見発表
20:50	アンケート記入時間
20:55	挨拶

